

**START,
2022
LRT.**



交通未来都市

うつのみやを目指して



令和元年11月29日

宇都宮市

建設部LRT担当次長 矢野 公久

宇都宮市の 交通環境

道路

東北自動車道で東京から62分

鉄道

東北新幹線で東京から48分

新宿湘南ラインで新宿から94分

北関東最大の50万都市

・面積416,85K㎡

・人口519,343人

※ 令和元年9月1日現在



宇都宮と言えば！！

大谷石 **Pierre d'Ōya**



J A Z Z

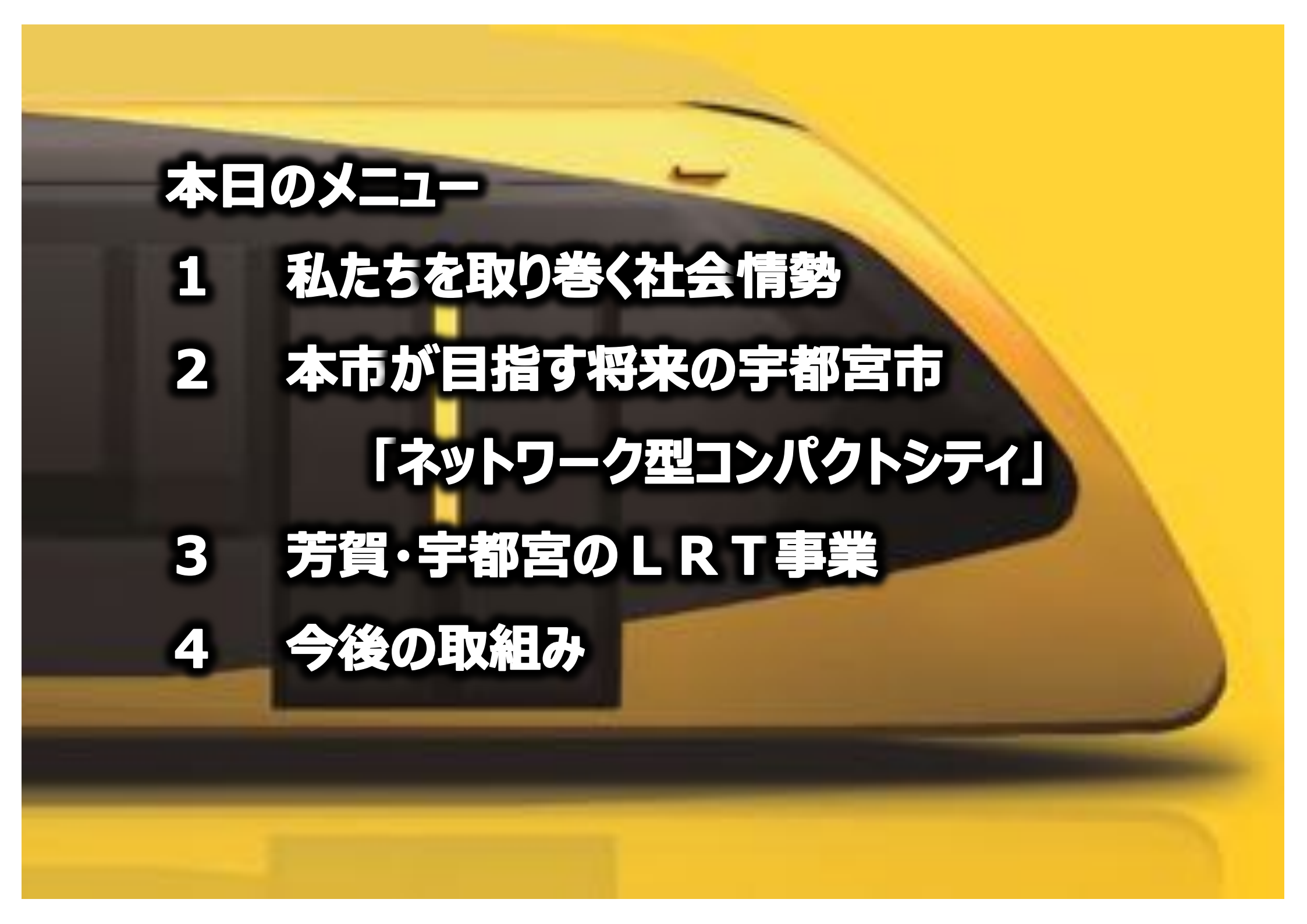


宇都宮餃子 **Gyōza**



カクテル
Cocktail





本日のメニュー

- 1 私たちを取り巻く社会情勢**
- 2 本市が目指す将来の宇都宮市
「ネットワーク型コンパクトシティ」**
- 3 芳賀・宇都宮のLRT事業**
- 4 今後の取組み**



1 私たちを取り巻く社会情勢

宇都宮市も人口が減少していく時代へ



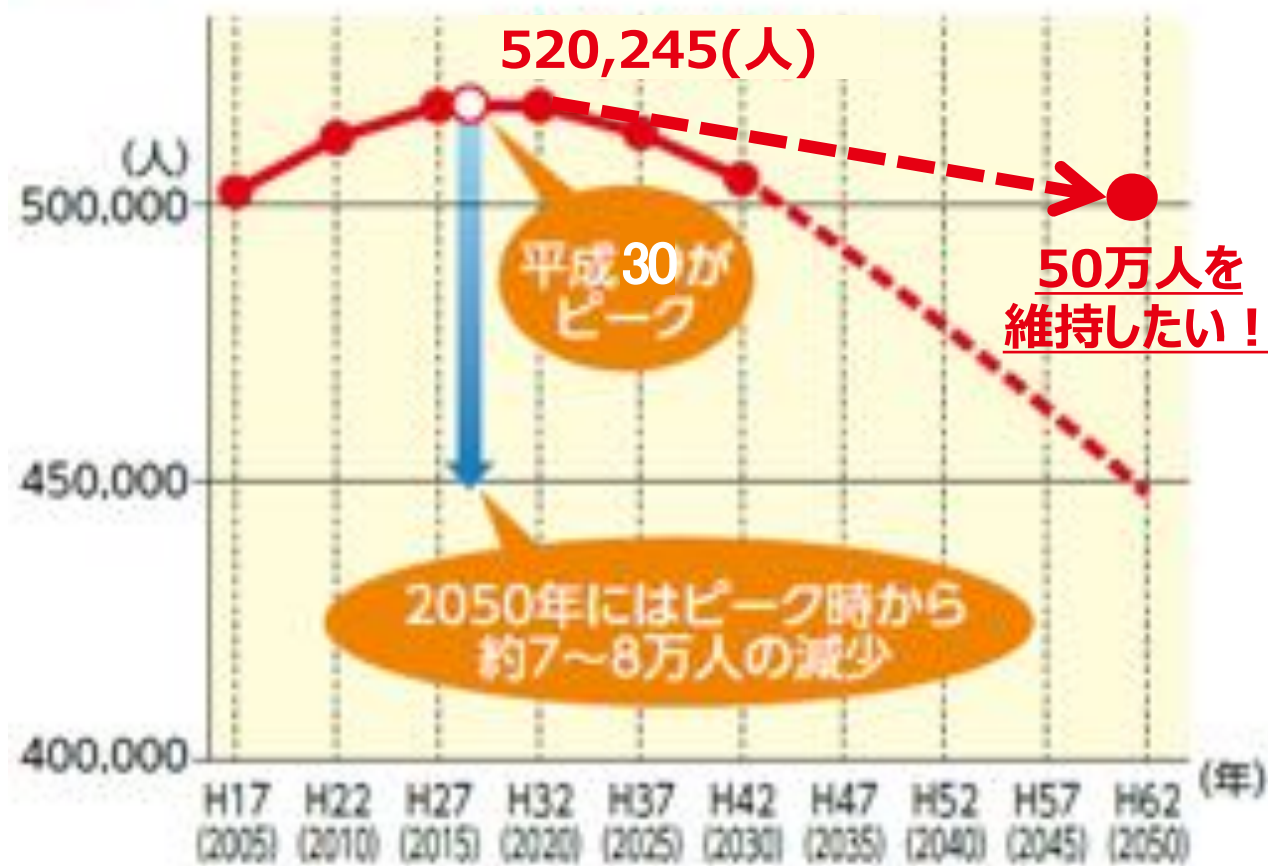
総人口の推移

【宇都宮市推計】

平成30年(2018)頃に
ピークを迎え、人口減少に
転じてしまう

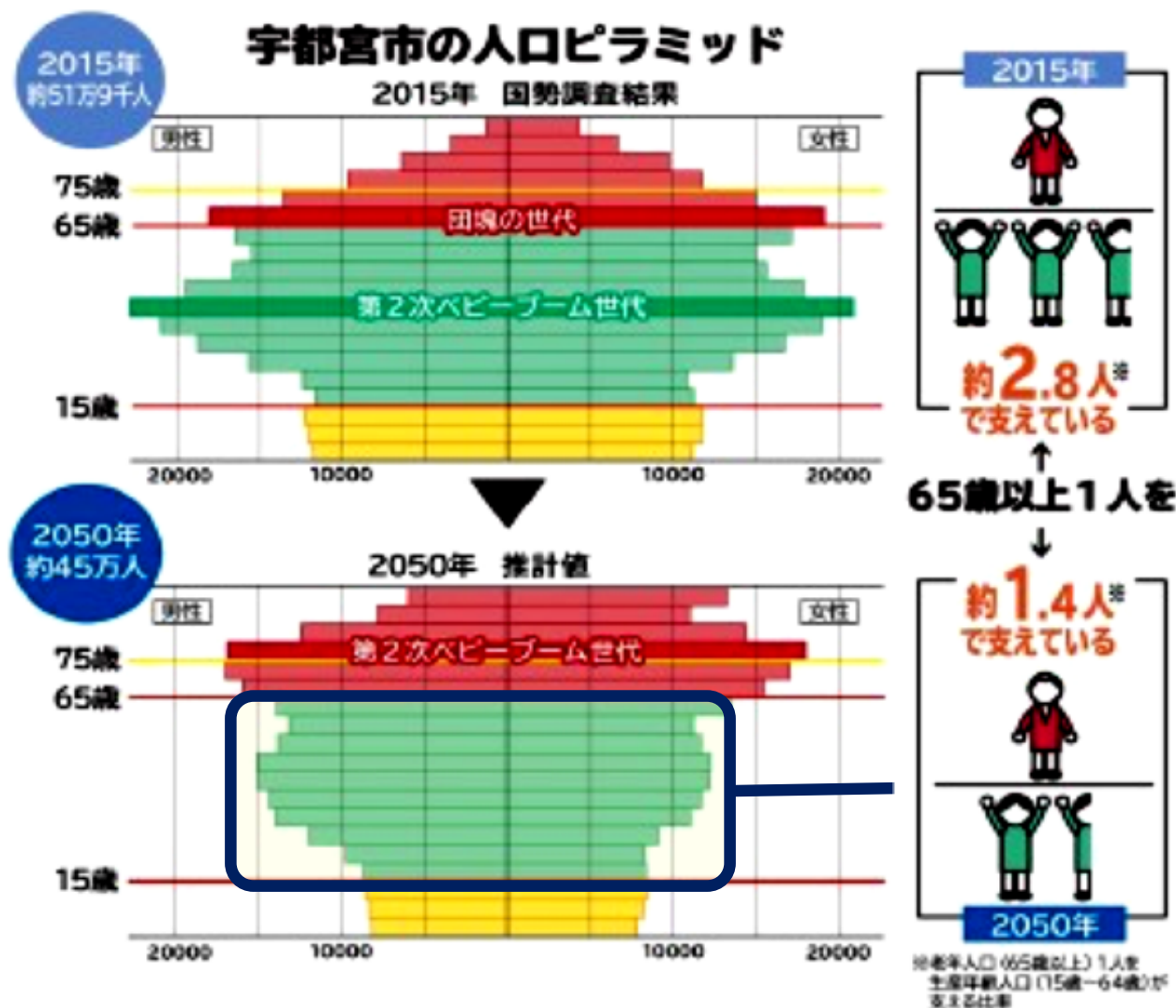
2018年：約52万人

2050年：約45万人



人口減少で市内の消費が停滞し、地域サービスや企業活動の衰退が心配な中、
宇都宮が元気であり続けるために、50万人の人口を維持したい！

超高齢化していく時代へ



●人口減少時代に加え 高齢化も進む

- ・高齢者の割合が高まり、現役世代の割合は低下していきます

※高齢化率

2016年: 23.3% → **2050年: 36.8%**

- ・高齢者になると増える介護や医療への税支出を支える、現役世代の割合が減り続けている

- ・現役世代が収める税金は、高齢者を含めた福祉全般のみならず、子育て・教育など、市政全般にわたって市民の暮らしを支えている

まちづくりに必要な財源<税収>の担い手が減っていく時代に

これからのまちづくりに必要なのは？



人口減少・超高齢化社会となっても
子どもや孫など次の世代も幸せに暮らせ、みんなに選ばれる
将来にわたって持続的に発展できるまちにしなければ・・・

・まちの密度が低下し、車が前提となった暮らしを変えていくことが必要

・そのためには、地域ごとに「便利」を高め、他の地域と公共交通で移動しながら暮らせるよう、「まちの形」を変えていくことが必要



その理想形が『**ネットワーク型コンパクトシティ**』
(暮らしをコンパクトに密度を高めて、地域を公共交通で繋ぐ「まちの形」)

いつまでも「**まちの活気**」と「**人の元気**」を確保していきます



2 本市が目指す将来の宇都宮市 「ネットワーク型コンパクトシティ」

ネットワーク型コンパクトシティのイメージ



- ◆ **各地域に拠点**を定めて便利な施設や住宅を誘導し、まちを少しずつコンパクトに
- ◆ 拠点を**交通ネットワーク**で結んで公共交通で移動する暮らし方
- ◆ **まちのコストを抑え**ながら、人の流れを活性化して**まちの経済活動を刺激**していく

【凡例】

[拠点]

- 都市拠点 (中心市街地320ha)
- 都市拠点圏域
- 地域拠点 (市街地部)
- 地域拠点 (郊外部)
- 産業拠点
- 観光拠点

[交通ネットワーク]

- 基幹公共交通 (鉄道)
- 基幹公共交通 (LRT)
- 幹線公共交通 (路線バス)
- 幹線公共交通・地域内交通
- 高規格道路 (高速道路)
- 道路ネットワーク (3環状12放射道路など)



公共交通ネットワーク構築の考え方



■ 基幹公共交通の整備

- ・東西の基幹公共交通として輸送力等に優れた **LRT** を整備

JR駅東側・・・LRT整備工事中

JR駅西側・・・整備に向けた検討中

■ バス路線の充実

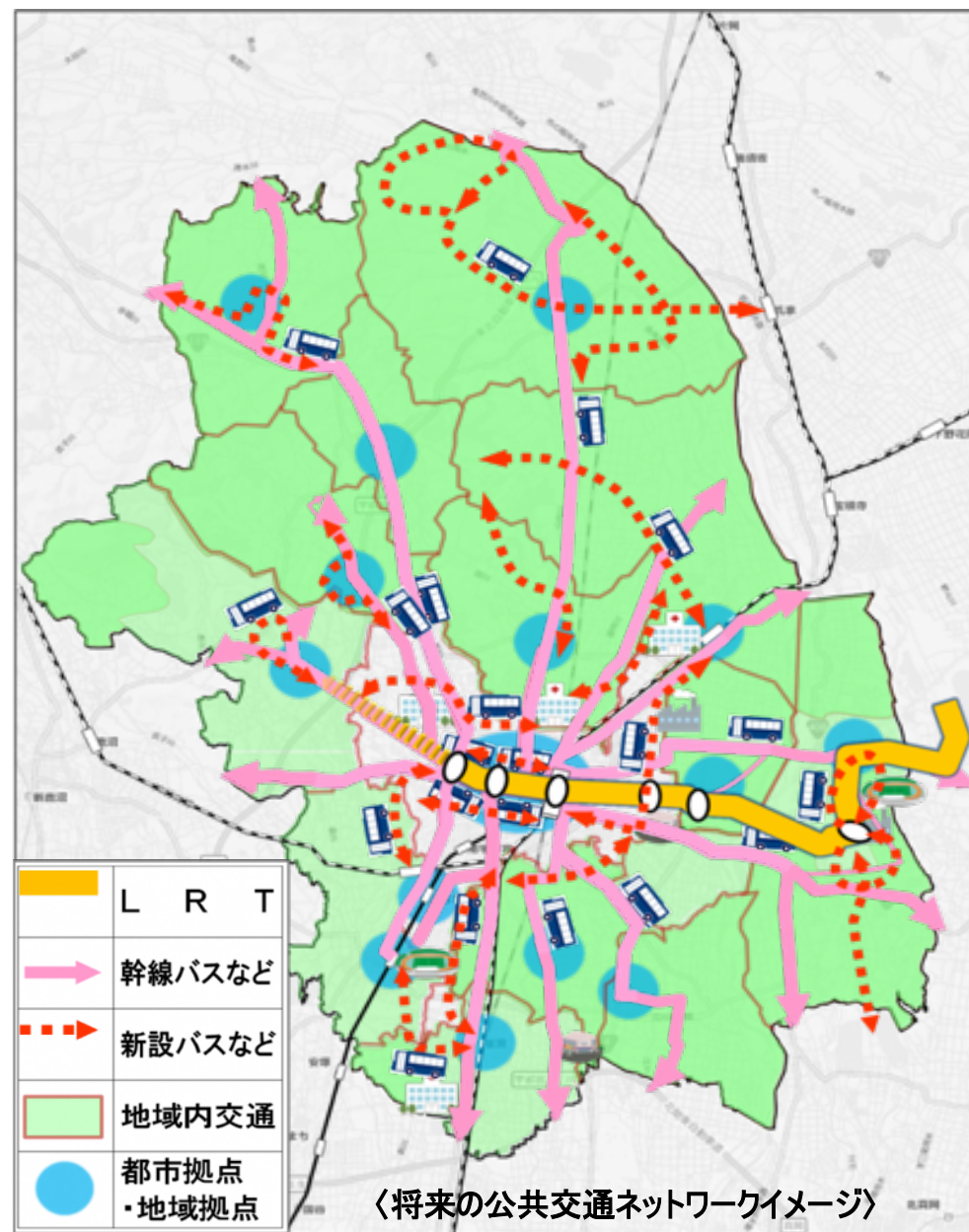
- ・LRTと重複するバス路線を振り分けることで、**公共交通空白地域の解消**や**拠点間の連携強化**等を図る

■ 地域内交通の整備

- ・郊外部全域に**地域内交通を整備**し、地区内の移動手段を確保

■ 交通結節機能の強化

- ・鉄道やLRT, バス, 地域内交通, 自動車, 自転車等を連携させる**交通結節機能を強化**



基幹公共交通となるLRTとは？



(Light Rail Transitの特徴)

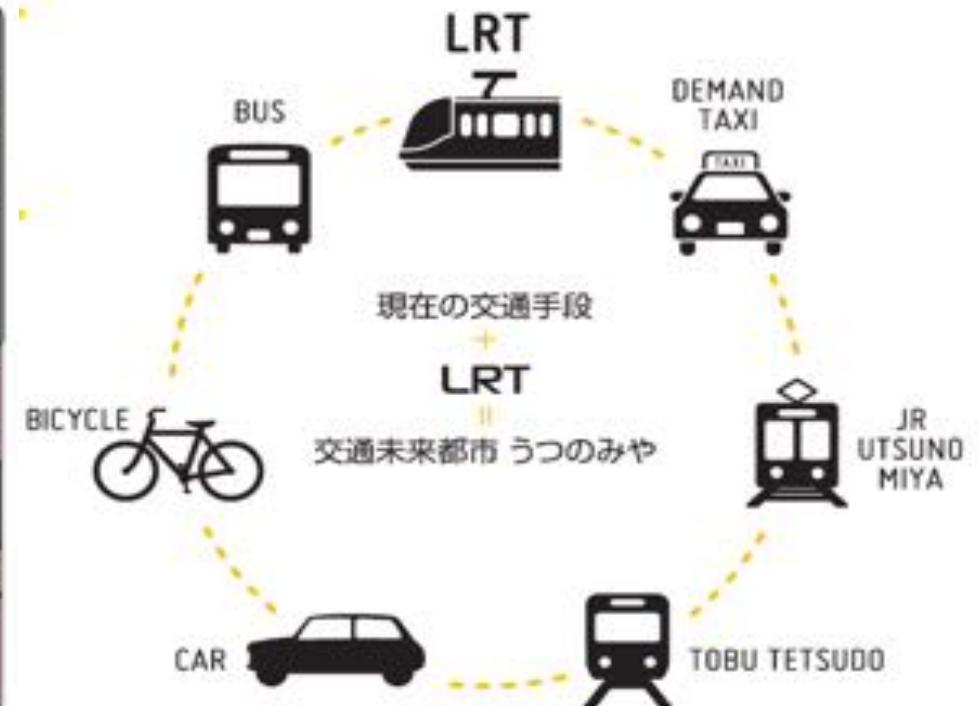
- ① 専用空間を走行するため、時間に正確な運行が可能
- ② 車両は騒音や振動が少なく快適な乗り心地
- ③ 車両の床が低く平らで、乗り場との間に段差や隙間が殆どないため、誰もが乗り降りしやすい構造
- ④ バスやタクシーと同じ高さ(道路上)で走るため、他の交通手段とスムーズに連携できる
- ⑤ 個性的で洗練された車両のデザインは、「まちのシンボル」にできる



公共交通ネットワークによるNCCの実現



人が移動しやすい環境をつくり、暮らしを変えていきます。



- ① 時間に正確で輸送力の大きいLRTで、核となる人の流れを作ります。
- ② LRTを核として公共交通を再編し、市全域で移動しやすい環境を育てます。
- ③ 移動しやすい公共交通NWにより市民の外出機会を増やし、健康増進や消費促進などの経済効果が生まれるような仕組みに繋がっていきます。
- ④ 公共交通の充実と沿線環境の向上により、住まいの誘導を促進します。

【参考】他の交通システムとの比較



新たな交通システムの種類と特徴



【東西方向の基幹公共交通にLRTを選択】

- ・ 宇都宮市における人の移動に見合った輸送力, 整備費用, 既存バスとの接続
- ・ 公共交通ネットワークの中心的役割に必要な時間の正確さ・速さ(定時性・速達性)
- ・ 将来のまちづくりを見据えた環境面の配慮, 既存鉄道との連携(乗り入れ) など



3 芳賀・宇都宮のLRT事業

JR宇都宮駅東側のLRT整備計画



営業キロ	約 1 5 キロメートル（複線）
事業方式	公設型上下分離方式
営業主体（上） 整備主体（下）	宇都宮ライトレール株式会社 宇都宮市、芳賀町
停留場数	1 9 ヶ所 （ 1 0 0 パーセントバリアフリー）
トランジットセンター想定箇所	5 ヶ所
導入車両	低床式車両 1 7 編成（車両長 2 9 . 5 2 0 メートル）
車両定員	1 6 0 人（座席 5 0 席）
概算事業費	約 4 5 8 億円（消費税は含まず） （内訳）宇都宮市区間 約 4 1 2 億円 芳賀町区間 約 4 6 億円
主な効果	▽移動に要する総所要時間の短縮 ▽道路交通事故の減少 ▽環境負荷の軽減 ▽運転できない人の外出機会の向上 ▽沿線地域の活性化 ▽拠点機能の強化による人口や企業などの集積 ▽経済活動の活性化による税収増 など

JR宇都宮駅東側の運行計画



運転最高速度	全線 時速40キロメートル																		
需要予測	1日当たりの利用者数見込み <table><tr><td>区分</td><td>通勤</td><td>通学</td><td>業務</td><td>私事</td><td>合計</td></tr><tr><td>平日</td><td>13,357人</td><td>1,305人</td><td>274人</td><td>1,382人</td><td>16,318人</td></tr><tr><td>休日</td><td>2,671人</td><td>131人</td><td>82人</td><td>2,764人</td><td>5,648人</td></tr></table>	区分	通勤	通学	業務	私事	合計	平日	13,357人	1,305人	274人	1,382人	16,318人	休日	2,671人	131人	82人	2,764人	5,648人
区分	通勤	通学	業務	私事	合計														
平日	13,357人	1,305人	274人	1,382人	16,318人														
休日	2,671人	131人	82人	2,764人	5,648人														
運転時間帯	午前6時台～午後11時台 (JR宇都宮駅の新幹線の始発・終電に対応)																		
運行間隔	▽ピーク時 6分間隔 (1時間当たり10本) ▽オフピーク時 10分間隔 (1時間当たり6本)																		
所要時間 (起終点間)	▽普通電車 (各停留場に停車) 約44分 ▽快速電車 (一部停留場を通過) 約37～38分																		
運賃	初乗り150円～400円 (対距離制)																		
JR宇都宮駅東口から 主な停留場までの 所要時間・運賃の 目安	普通電車を利用した場合 ▽ベルモール前 約11分 150円 ▽清原工業団地北 約27分 300円 ▽本田技研北門 約44分 400円																		
運賃收受方法	交通ICカードシステムを導入																		

LRTの事業スキーム（公設型上下分離方式）



- ◆ LRT事業は、「公設型上下分離方式」という新しい事業方式を採用し、市・町が道路や公園と同様に「車両・軌道等」を整備・保有し、民間が事業運営を担います。

◆ LRTの事業スキーム

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」(H19施行)に基づき
施設の整備・保有を公共が担い、事業運営を別の主体(民間等)が行う
「公設型上下分離方式」により事業を実施(役割分担の明確化)



LRTの導入ルート



【参考】主な沿線施設

⑤宇都宮工業団地



面積：304.1㊦ 企業数：61社
従業員数：約5,2千人 (H25.4)

⑥道場宿緑地



野球場・ソフトボール場

⑬⑭芳賀、芳賀・高根沢工業団地



面積：475㊦ 企業数：104社
従業員数：24,1千人 (H30.4)

⑫宇都宮テクノポリスセンター



面積：177.2㊦ 計画人口：1万3千人
世帯数：3286世帯 居住者数：7,106人 (H31.2)

⑪栃木県グリーンスタジアム



収容人員：約15,000人

⑩清原球場

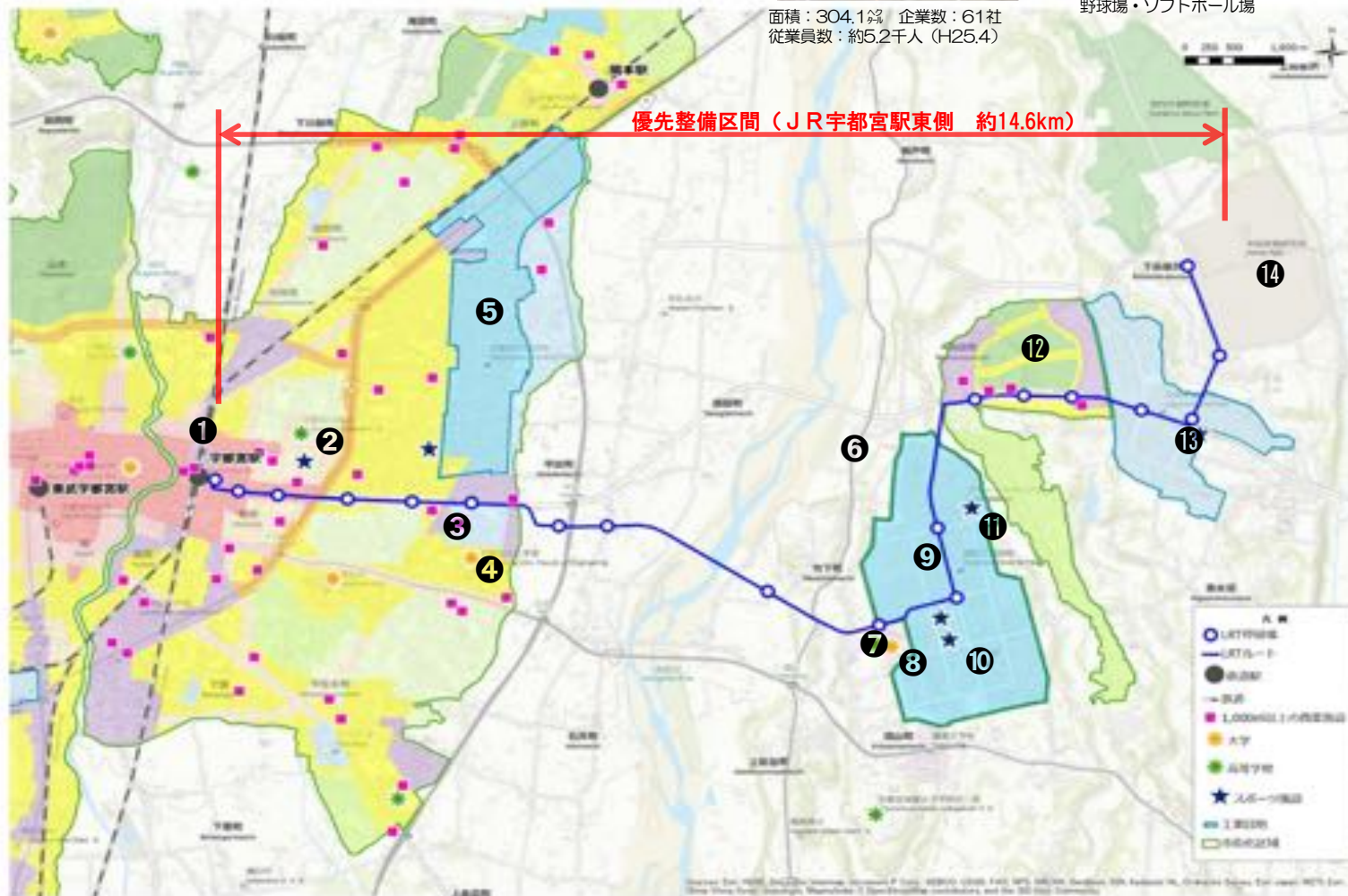


収容人員：約3万人

⑨清原工業団地



面積388㊦ 企業数：39社
従業員数：13,8千人 (H30.8)



①JR宇都宮駅



1日平均乗客数：37,586人
H29 JR東日本データ

②宇都宮市体育館



観客席：約2,900席

③ベルモールSC



商業施設面積：50,400㎡
延床面積：157,500㎡
従業員数：約2千人
来客数：平日約2.5万人、休日約5万人

④宇都宮大学



在学生：4,071人 (H30.5)
教職員：467人

⑦宇都宮清陵高校



生徒数：830人 (H30.4)

⑧作新学院大学・短期大学



生徒数 1,305人 (H30.5)
教員：53人
大学：1,027人 短大：278人

中央分離帯を撤去する工事が完了し、今後、軌道などの工事を施工する予定

変電所の建屋工事が完了し、今後、変電設備の工事をする予定

拡大写真



An aerial photograph of a dam structure spanning a river. A red circle highlights a specific structure on the dam, which is pointed to by a red arrow from the left. The dam is surrounded by green vegetation and a road runs along the bottom left.

[illegible]

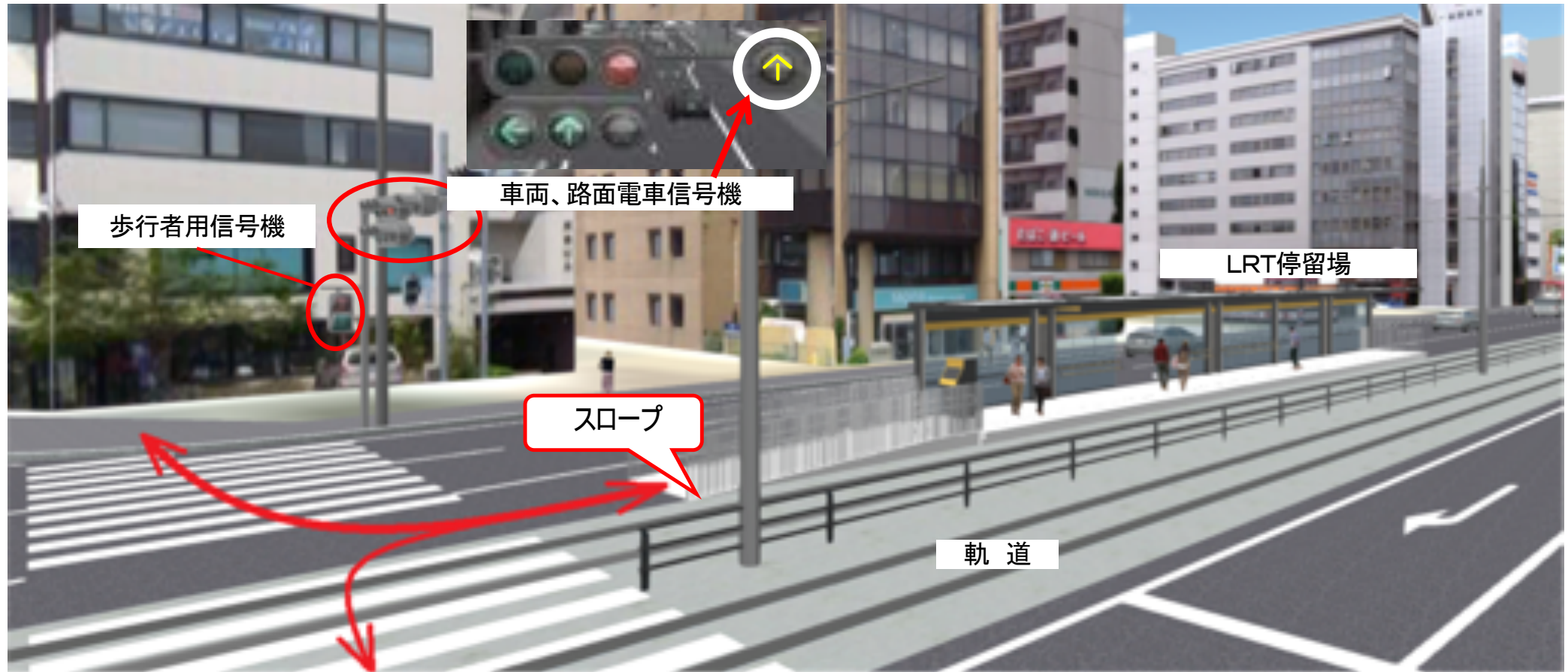
トランジットセンターの造成工事を施工中

トランジットセンターの造成工事を施工中

LRTの乗り場イメージ（街なかに設ける停留場）



L R Tの停留場は主に信号のある交差点に整備します。利用する場合は信号に従い、横断歩道を渡って利用します。



整備概要	上屋や壁による雨風対策や、ベンチの整備など、利便性を考慮
バリアフリー	スロープ、誘導ブロック、点字表示・案内板、電光案内板、音声案内、段差解消
地域性	大谷石などの地場産材活用や、壁の一部に地域ならではのデザインを取り入れる

乗り換え施設（トランジットセンター）の配置



宇都宮駅東口地区整備事業（概要）



宇都宮駅東口地区整備事業

主なスケジュール

2020年度 自転車駐車場供用開始

2022年度 コンベンション施設等供用開始

【凡例】 公共施設 民間施設

※民間施設の施工主体は野村不動産㈱
を中心とした17の民間企業

高度専門病院
(脳神経脊髄脊椎
外科サービス)

複合施設棟②

デュシタニホテル
(ラグジュアリータイプ)

分譲マンション
(プライド)

商業施設

駐車場

自転車駐車場

コンベンション施設

交流広場

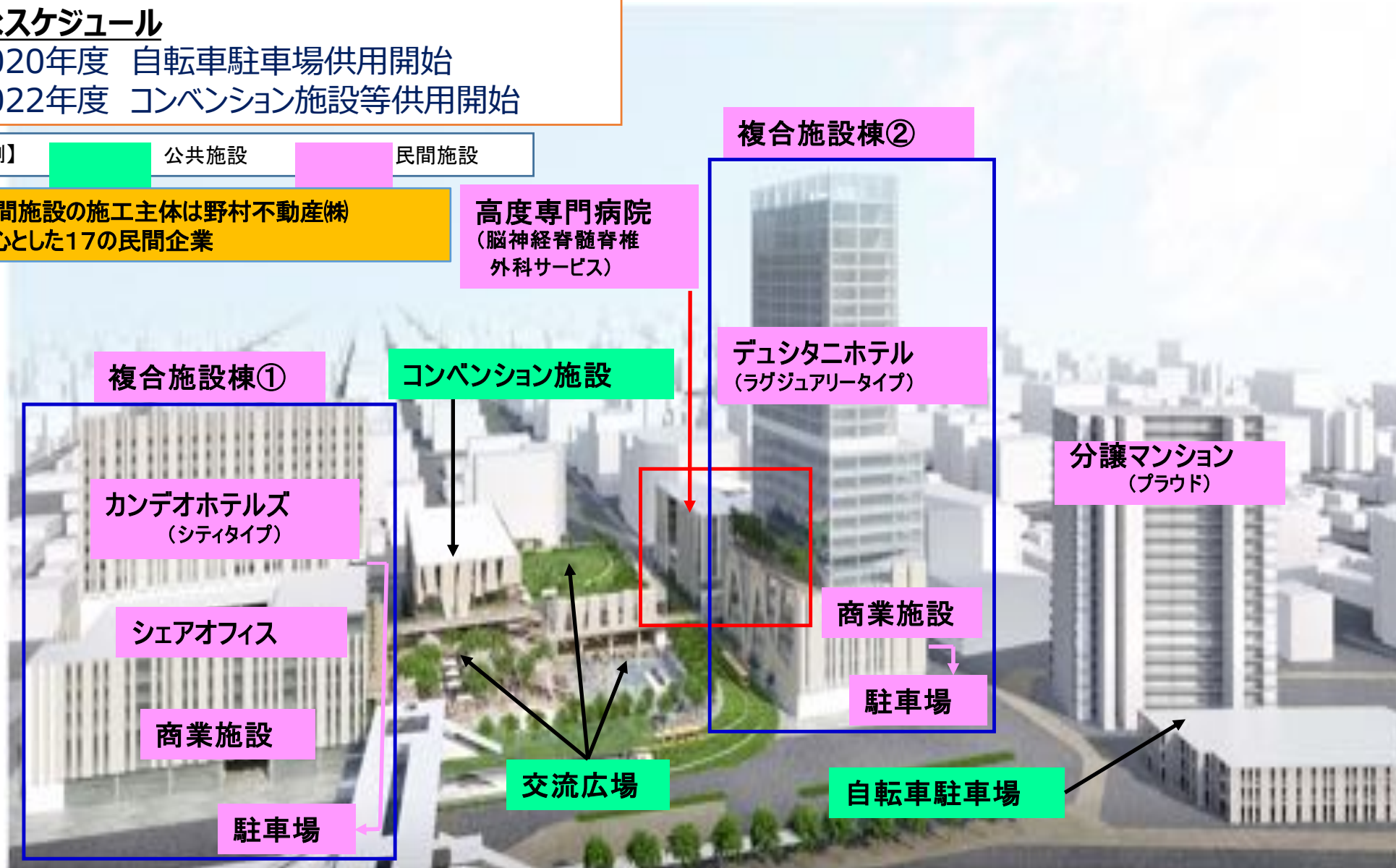
複合施設棟①

カンデオホテルズ
(シティタイプ)

シェアオフィス

商業施設

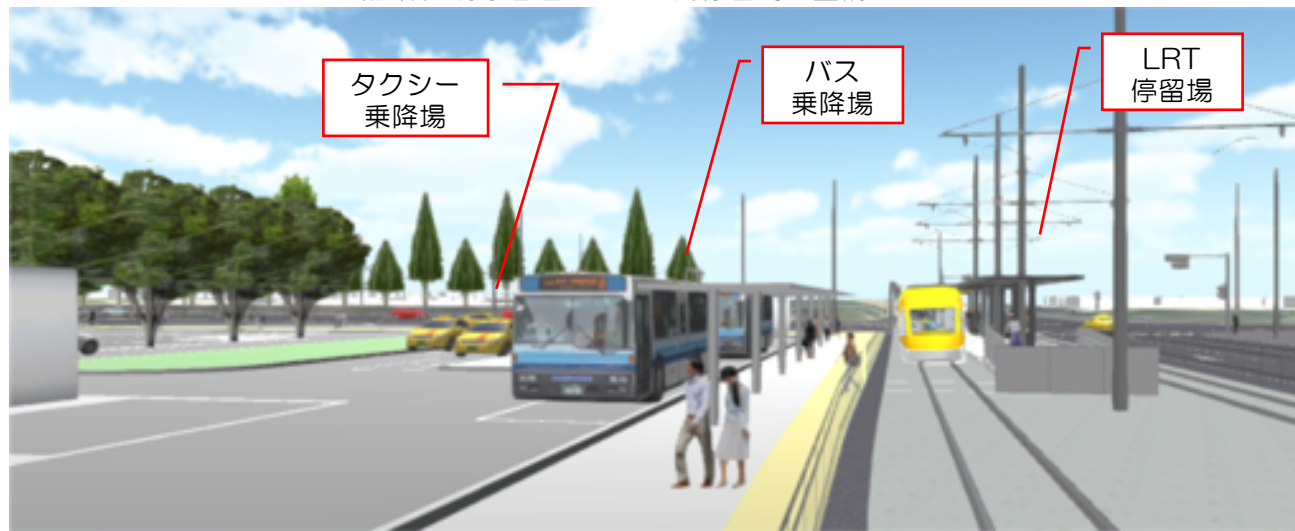
駐車場



(仮称) 清原トランジットセンターの整備イメージ



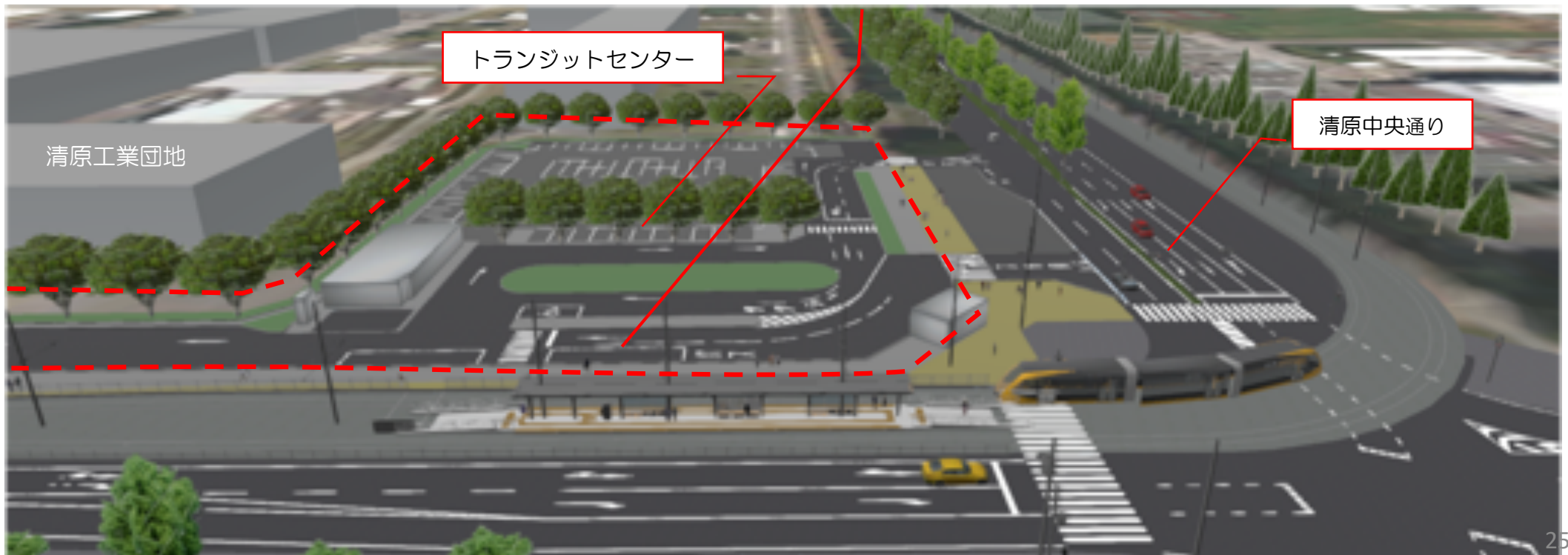
(仮称) 清原管理センター前停留場の整備イメージ



JR宇都宮駅東口停留場から

【距離】約8.2km 【料金】300円

【所要時間】各駅23分



LRT車両について



雷の色を表す黄色いシンボルカラー

「雷都を未来へ」のコンセプトのもと、雷の光の色を表す「黄色」をメインカラーに採用しました。また、「黄色」を引き立たせる色として、サブカラーには「黒」から「白」までの無彩色を用います。



■導入車両 低床式車両17編成（車両長 29.52メートル）

■車両定員 160人（座席50席）

LRT車両について



■ 定員数、座席数の確保

【定員数】 車両長をできる限り延長させ、国内の低床式車両で最多となる「定員160人」を確保

【座席数】 鉄道の通勤電車並みに広い座席幅とした上で、可能な限りの座席数「50席」を確保

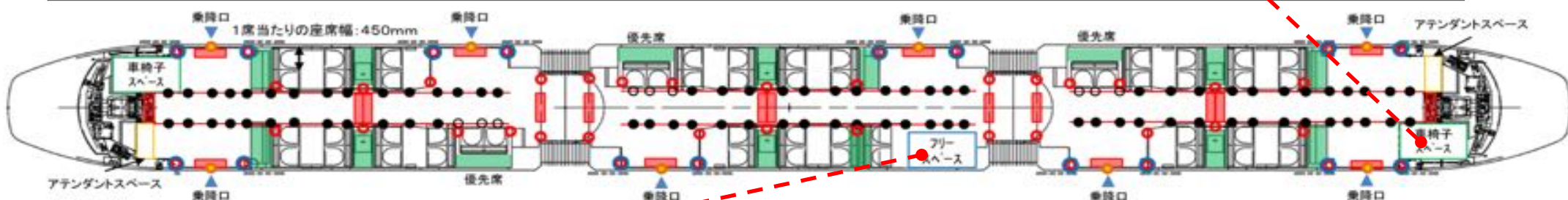
■ 車椅子スペースの設置

【車椅子スペース】 1編成に2か所設置し、バリアフリー性を向上（バリアフリー整備ガイドラインにおいては1編成につき1か所以上とされる）

（車椅子スペースの寸法：1,300mm×750mm）

凡例

□：座席 ■：荷物置スペース ○：縦手すり —：手すり（天井） ●：一般つり革 ○：低位つり革 ●：ドア開閉ボタン（車内外） ■：車内モニター ○：ICカードリーダー



■ フリースペースの設置

- ・利用形態を限定しないフリースペースを中間車に設置
- ・ベビーカーや大型荷物持ち込みの需要に対応

■ 全扉へのICカードリーダーの設置

効率的な運営や人件費削減のため、ワンマン運転を実施

【運賃収受方法】

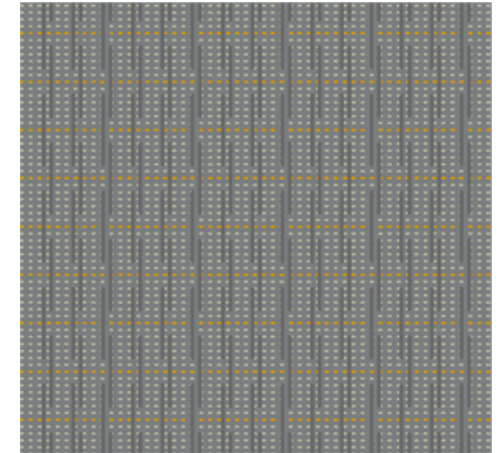
- ・ICカード利用を主体とし、速達性・定時性の向上や、利用者の利便性を高める
- ・**全扉にICカードリーダーを設置**し、全ての扉を活用した車両内収受を行う

LRT車両について



■ 独自性を感じさせる地域性の取り込み

ロールカーテンに宇都宮の伝統工芸である宮染めのイメージを表現するなど、沿線の風土を感じさせる地域性を内装の一部に反映

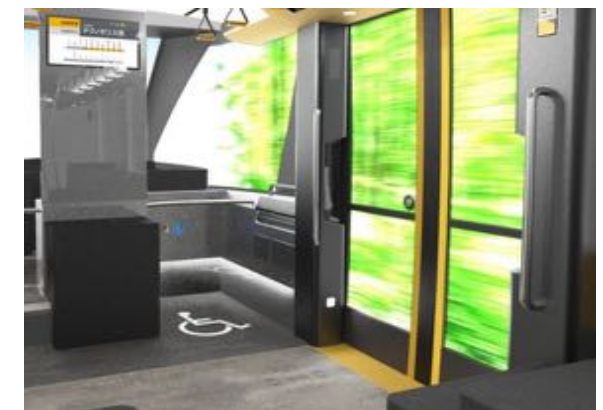


ロールカーテンの
イメージ（宮染め）

※デザインについては検討中

■ 雷の光（稲妻）を表現したシンボルカラーの効果的な配色

トータルデザインによる統一感を確保するため、座席などにシンボルカラーの「黄色」を効果的に配色



車いすスペースのイメージ

※色彩等については検討中

交通ICカードの導入



上限運賃制度や
高齢者外出支援事業
などお得なサービス



タッチするだけで
支払いも簡単



地域連携
ICカード

SuicaやPASMO等の
交通系ICカード

現在、交通事業者との調整や提供する行政サービスを検討中
・今後、交通ICカードシステムの開発
・令和3年 春 路線バスに先行導入

交通ICカードの導入にあわせて、より利用しやすい運賃体系への見直しを

「地域連携 I Cカード」について



概要

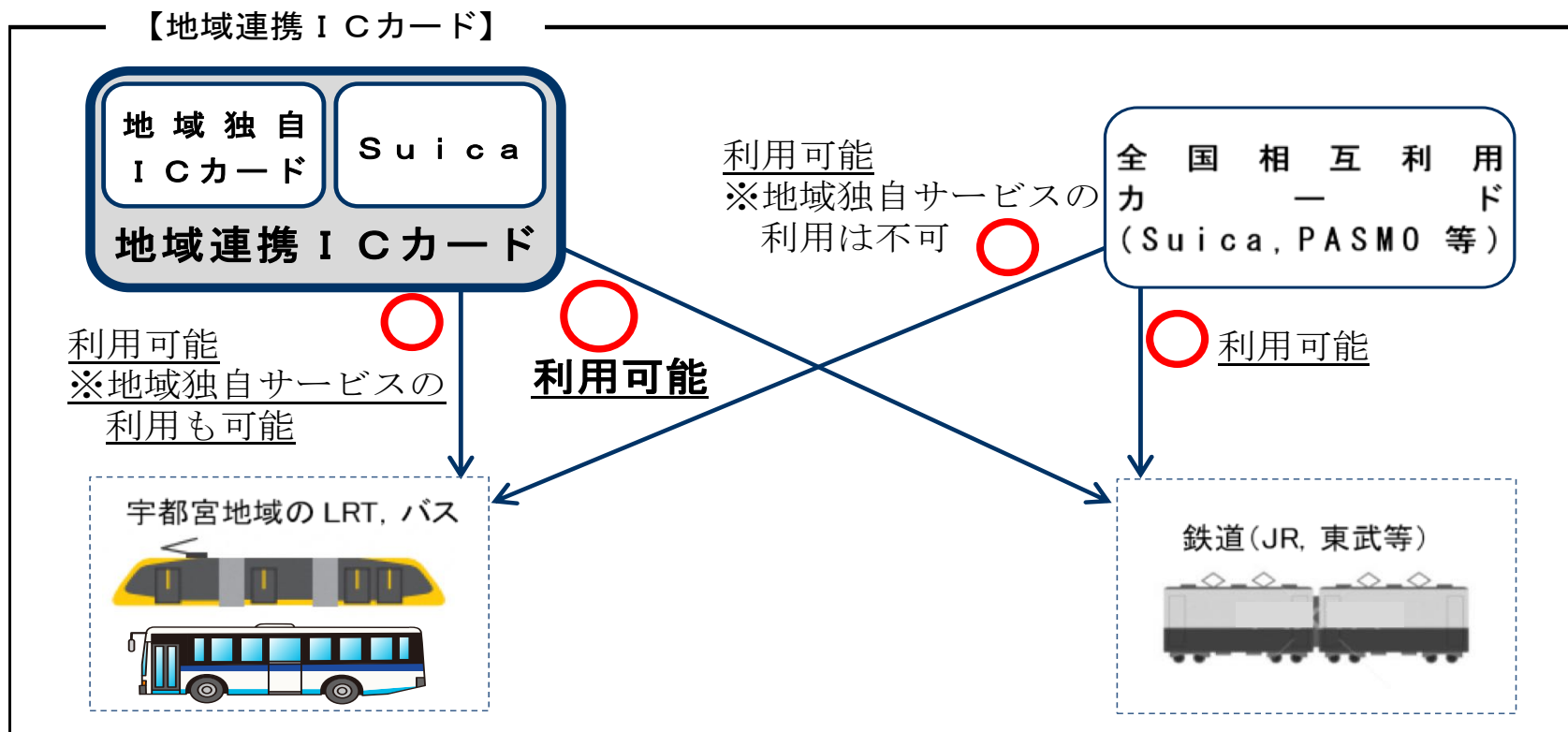
全国相互利用カードであるSuicaの機能を持ちながら、地域独自サービスを提供できる
全国初の交通 I Cカード

導入について

- 1枚のカードで宇都宮地域の全ての公共交通が利用でき、高齢者外出支援事業や上限運賃制度などの地域独自サービスの実現も可能できる利便性に優れた**「地域連携 I Cカード」を宇都宮地域に導入**
- 「地域連携 I Cカード」を利用したサービスの提供について J R 東日本などの関係機関と合意

スケジュール（予定）

令和3年春 バスへの I Cカード導入
4年3月 LRTへの I Cカード導入





芳賀・宇都宮LRTの特徴

- 完全な新線整備であり，全て同一の車両を導入予定
- 通勤・通学利用者が約 9 割で，ピーク時に利用が集中

運賃収受の基本的な考え方

- 運賃収受による停車時間の短縮を図り，速達性・定時性を向上
- 運賃支払時の車内移動を低減することにより，利用者の利便性を向上



■ 運賃収受方法の基本方針

ICカード利用を基本とし，扉を限定せず乗降できる方式を採用

LRT運賃収受について



■ I Cカードリーダーの配置について

I Cカードリーダーを設置する高さや取付角度については、実物大模型を用いて検証するとともに、障害者福祉会との意見交換を行いながら検討



図 I Cカードリーダーの配置イメージ



4 今後の取組み

⑤大谷観光地付近【約8 km】

④東北自動車道付近【約6.5 km】

③宇都宮環状線付近【約5 km】

②護国神社付近【約4 km】

①桜通り十文字付近【約3 km】

計画区間

延伸検討区間

交通結節機能
(トランジットセンター等)



JR宇都宮駅西側へのLRT導入の検討



宇都宮駅東口に到着したLRTは、ホテルアールメッツの北側を回って西口に渡ります。



※駅西口停留場の
位置は引き続き
検討していきます



「SDGs未来都市」に選定！



SDGs未来都市について

本市のSDGs（エスディー・ジーズ）の達成に向けた取組が、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市として、「SDGs未来都市」に選定され、令和元年7月1日、首相官邸において、安倍晋三内閣総理大臣から佐藤栄一宇都宮市長に選定証が授与されました。

この度の選定を機に、地域の様々なステークホルダーと連携して、本市の特性を踏まえたSDGsを推進していきます。

なお、SDGs未来都市については、本年度本市のほか、郡山市や豊橋市など計31都市が選定され、2018年度には、横浜市や富山市、岡山市など29都市が選定されています。



SDGsとは

SDGs（エスディー・ジーズ）は、「Sustainable Development Goals」の略で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの長期的な開発の指針「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における「持続可能な開発目標であり、国際社会共通の目標です。

持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されており、地球上の「誰一人として取り残されない」社会の実現に向けて、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に対する総合的な取組が示されています。



なぜ「スマートシティ」なのか？

本市が抱える課題

- ・ I C Tをあらゆる分野で活用した**豊かで幸せに生活できる社会づくり**
- ・ L R Tを軸とした交通ネットワークの効果を最大化した**誰もが快適に移動できる環境づくり**
- ・ 各分野のデータの統合・共有化による、**まち全体を最適化するマネジメントの確立**

課題が解決された姿

「スマートシティうつのみや」

スマートシティ×宇都宮

2017年から、宇都宮大学や早稲田大学等との共同により、
官民の様々なデータを分野横断的に収集・分析するための研究を開始

(科学技術振興機構 未来社会創造事業)

多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築

超スマートシティ・サービスマネジメント・プラットフォームの構築

研究開発代表者： 林 泰弘 早稲田大学 理工学術院 教授

共同研究機関： 東京大学、大阪大学、宇都宮大学
宇都宮市、東京電力パワーグリッド株式会社



今回のモデル事業は、本研究と連携しながら推進

スマートシティ×宇都宮

データプラットフォーム

- ・ L R T やバス等の運行情報や E V 充電器の情報等を集積するツール
- ・ 分析結果は民間サービスや行政サービスの実施に活用

民間サービス事業者

クーポン発行

観光案内

空情報

予約

乗換案内
My時刻表

活動
表彰

渋滞混雑予測・リコメンド

サービス

データプラットフォーム

個人情報
保護システム

加工データ

LRT・バス
運行関連
システム

LRT改札

EV充電器
カーシェアシステム

商業施設情報
店舗情報

系統・交通
電力計測
システム

スマホ利用データ
(地域カード連携
モバイルアプリ)

生データ

デジタルツイン都市モデル

- ・データプラットフォームに収集したビッグデータを活用し，仮想空間上でシミュレーションを行う仕組み
- ・サイバー空間上でシミュレーションを行い，その結果を基にフィジカル空間における具体的な施策を展開



「スマートシティモデル事業」について

- 宇都宮市と相互友好協力協定を締結している宇都宮大学と
同大学が共同研究を行っている早稲田大学、KDDI株式会社
及び各種データ等の提供者である民間企業等8団体で
「Uスマート推進協議会」を設立（令和元年7月30日）

協議会が「先行モデルプロジェクト」として取り組む4つの事業

- 1 ルネッサンス大谷の実現（大谷地域の観光振興）
- 2 スマート・モビリティサービスの実現
- 3 スマート・ホスピタリティの実現
- 4 スマート・エネルギーマネジメントの実現

「スマートシティモデル事業」について



【目指すスマートシティのイメージ】

・すでに、スマートシティの実現に向けて取組を進めているLRTの整備や地域新電力の設立といった取組を、ICT等の新技術を活用し各取組を結び付けることで、個別の最適化から総合的・統合的に市域全体の最適化が図られた持続可能な都市を実現

1 ルネッサンス大谷の実現（大谷地域の観光振興）

大谷地域とは

- ・ 宇都宮市が有する観光地
- ・ 2018年5月「大谷石文化」が日本遺産に認定
- ・ 年間70万人を超える観光客が来場



鋭く切り立つ岩山と灰白色の岩肌に蔦が絡まる独特の奇岩群



旧・帝国ホテル（フランク・ロイド・ライト設計，愛知県犬山市明治村）

大谷石は旧帝国ホテル，自由学園・明日館，日本民芸館など数多くの歴史的建造物において使用

1 ルネッサンス大谷の実現（大谷地域の観光振興）

大谷地域が持つポテンシャル

大谷資料館



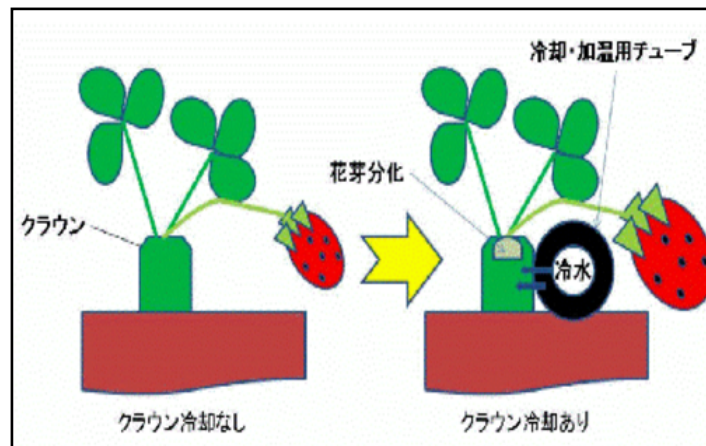
地底湖クルージング



地下空間の「冷熱エネルギー」を活用した「大谷夏いちご」の栽培

地下空間に年間を通して 5°C から 10°C 前後の冷水が賦存

冷熱エネルギーとして活用



1 ルネッサンス大谷の実現（大谷地域の観光振興）

訪れた方が安全・快適に大谷地域を周遊していただけるよう、抜本的なエリアマネジメントを実施

- ・パーク&バスライド
- ・グリーンスローモビリティ（7人乗り）・自動運転車（16人乗り）の走行

GW期間中に実施
した社会実験の様子



お盆期間中に実施
した社会実験の様子



1 ルネッサンス大谷の実現（大谷地域の観光振興）

【お盆期間中の社会実験の概要】

■実施期間

令和元年8月10日～13日

■車両

株式会社シントウギャザー「eCOM-10」
(群馬大学所有)

■実施目的

- ・大谷地域内に点在する観光資源を巡る2次交通としての有効性の検証(車の短距離移動の解消による交通渋滞の緩和)
- ・グリーンスローモビリティ(GSM)が観光目的の魅力となりえるかの検証

■社会実験の効果

- 地域内での自家用車のうろつきを抑制による渋滞の解消
- 利用者アンケート回答者の約8割が「快適性」・「楽しさ」の項目で「満足」・「やや満足」

将来の展開

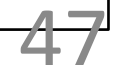
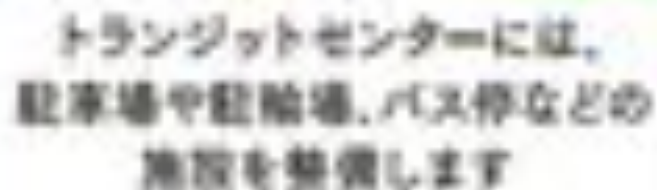


- ・ 3次交通（新たなモビリティ）の導入
- ・ 人流データを活用した商業活性化支援

LRTの整備（2022年3月の開業を目指す）



様々な交通手段で利用できる交通 I Cカードの導入



2 スマート・モビリティサービスの実現

(スマートシティモデル事業) 「交通未来都市」実現に向けた取組

新たなスマートモビリティの導入に向けた検討

シェアサイクル



自動運転バス



パーソナルモビリティ



シェアEV

➡ 誰もが自由に移動できる交通環境を実現するため、これらの多様な交通手段を「つなぐ」仕組みも必要

2 スマート・モビリティサービスの実現

(スマートシティモデル事業)

「交通未来都市」実現に向けた取組

大谷地域を目的地とする「観光型MaaS」の導入



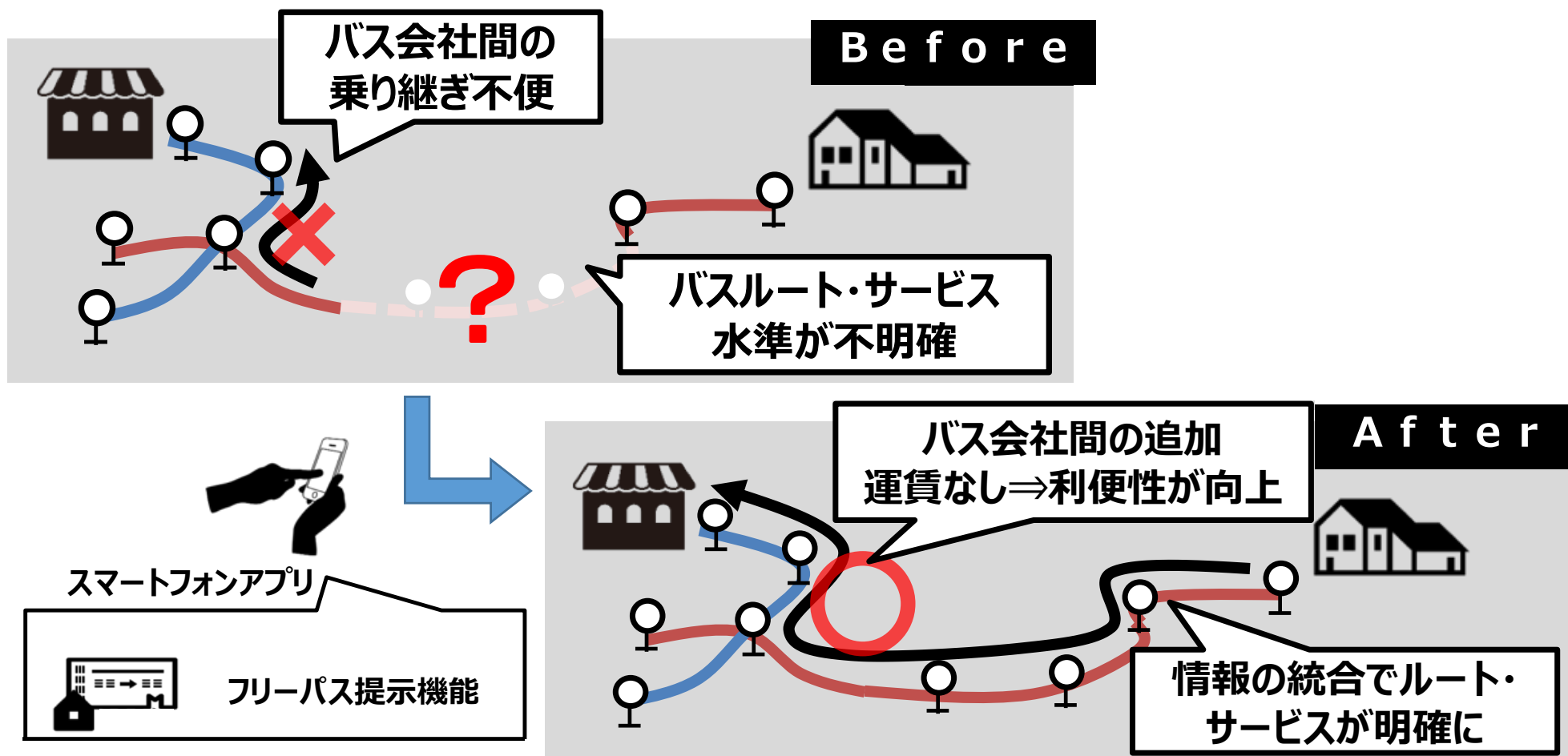
将来的な展開

LRTを含む「宇都宮版MaaS」への発展

2 スマート・モビリティサービスの実現

産学官連携による「宇都宮MaaS社会実験」の実施

⇒ 利便性の高い公共交通サービスとICTを統合したMaaSアプリの提供による**交通行動の変化**を検証



3 スマート・ホスピタリティの実現

宇都宮市では、外国人を含む多くの来場者のある国際的なスポーツイベントを開催

FIBA 3x3 ワールドツアー-うつのみやファイナル

3人制バスケットボール
クラブ世界一決定戦



日時：2019年11月2日(土)・3日(日)

JAPAN CUP サイクルロードレース

アジア最高位の自転車
ワンデイロードレース



日時：2019年10月19日(土)・20日(日)

宇都宮シクロクロス

UCI (国際自転車競技連合) 公認の
自転車オフロード周回レース



日時：2019年12月14日(土)・15日(日)

3 スマート・ホスピタリティの実現

宇都宮駅東口地区では、コンベンション施設やホテル、商業施設などの高次な都市機能を導入（2022年8月供用開始予定）

整備イメージ



コージェネレーションシステム、地下水などの自然エネルギーの一体的な活用などのエネルギー供給システムを整備

今後、宇都宮市への来訪者の更なる増加が見込まれる中、いかにストレスなく快適に過ごしていただくかが重要

3 スマート・ホスピタリティの実現

(スマートシティモデル事業) ICTを活用した「スマートなおもてなし」

【3x3国際大会における社会実験 の概要①】

■実施期間

令和元年11月2日～3日

■検証内容

- ①顔認証受付による招待客の利便性向上や、受付処理の時間短縮、セキュリティ向上の検証
- ②顔認証決済による利用客の利便性向上、会計時間の短縮、売上への影響、社会受容性の検証

■対象

- ①国内大会招待者 約150名
- ②選手・大会関係者、一般客 約250名



今後、結果を検証し、
ホテルやコンベンション施設等への導入可能性を検討

3 スマート・ホスピタリティの実現

(スマートシティモデル事業) ICTを活用した「スマートなおもてなし」

【3x3国際大会における社会実験の概要②】

■実施期間

令和元年11月2日～3日

■検証内容

アプリを活用したGPSデータの位置情報をもとに人流分析

- ・大会情報のリアルタイム発信等による来訪者の利便性向上
- ・同時開催するイベントや店舗等への誘導による回遊性の向上

■対象

約5,000人



今後、人流データを分析し、次年度以降、効果的な店舗配置や誘導員等の配置、非混雑ルートへの誘導による人流円滑化を検討

3 スマート・ホスピタリティの実現

(スマートシティモデル事業)
ICTを活用した「スマートなおもてなし」

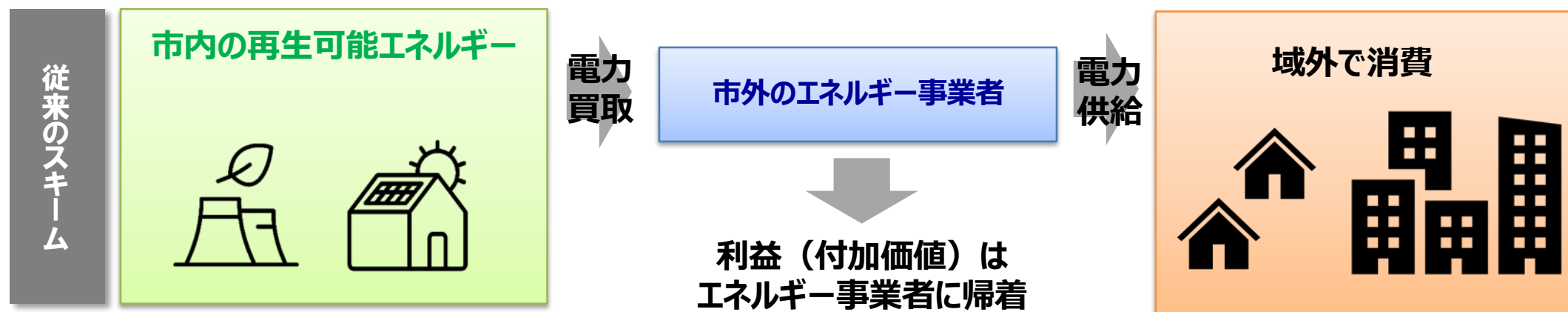
将来に向けた更なる展開



4 スマート・エネルギーマネジメントの実現

再生可能エネルギーに係る宇都宮市の現状

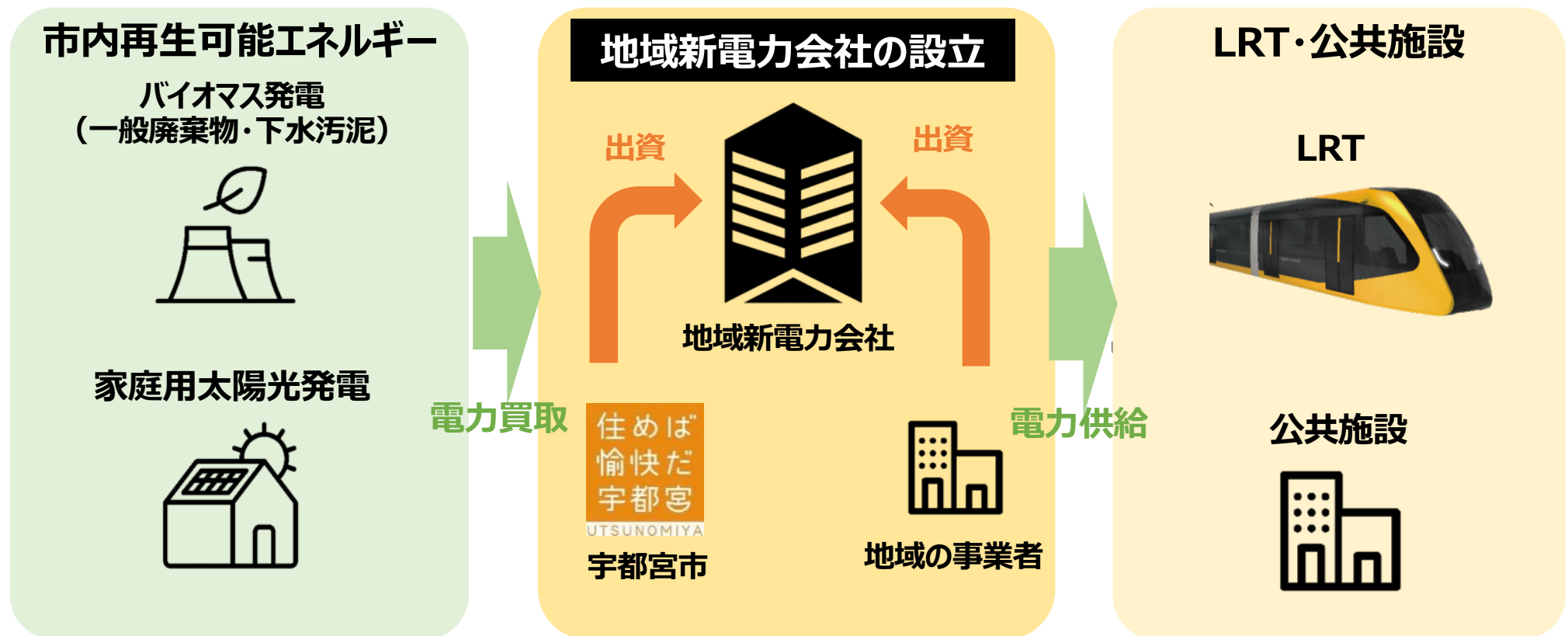
宇都宮市のバイオマス発電施設（クリーンパーク茂原，川田水再生センター）や太陽光発電により発電した再生可能エネルギーが域外へ流出



スマート・エネルギーマネジメントの実現

目指す姿

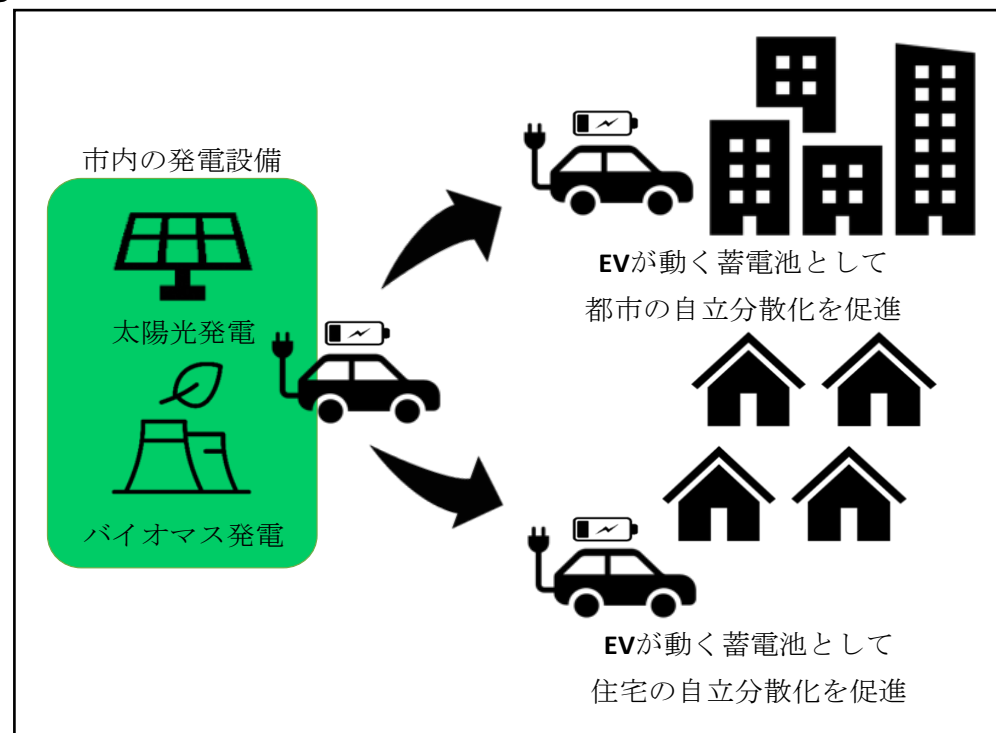
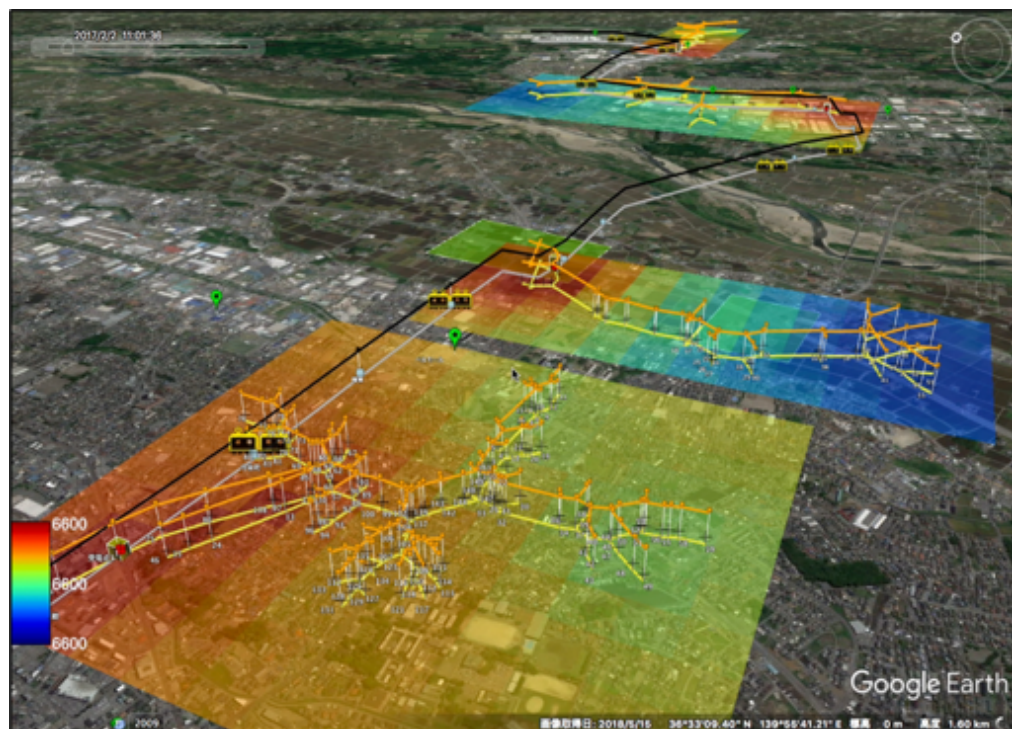
再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、地域新電力会社（地域PPS）の設立の検討を進めている。



4 スマート・エネルギー・マネジメントの実現

(スマートシティモデル事業)
地域P P Sを運営する中で得られるビッグデータを用いた
新たなサービス創出の検討

▼小区域内における電力の見える化



▲EVの蓄電池利用の可能性調査

将来的な展開

地域P P Sによるバイオマス発電電力のL R T
や公共施設への供給

モデル事業実施に向けた運営体制

- 「Uスマート推進協議会」を設立（令和元年7月30日）
- 「スマート・モビリティ」分野の取組を強化するため、新規入会団体を公募し、新たに16団体が入会（令和元年11月7日）

<u>あいおいニッセイ同和損害保険株式会社</u>	<u>共同印刷株式会社</u>	<u>株式会社日立システムズ</u>
<u>株式会社アバンアソシエイツ</u>	KDDI株式会社	<u>富士通株式会社</u>
宇都宮市	<u>株式会社JTBコミュニケーションデザイン</u>	<u>本田技研工業株式会社</u>
国立大学法人 宇都宮大学	<u>株式会社下野新聞</u>	<u>三井情報株式会社</u>
宇都宮ライトレール株式会社	東京ガス株式会社	<u>三井住友海上火災保険株式会社</u>
<u>株式会社NTTドコモ</u>	日本電気株式会社	<u>三井住友ファイナンス&リース株式会社</u>
<u>関西電力株式会社</u>	<u>株式会社NEZASホールディングス</u>	<u>株式会社三菱総合研究所</u>
関東自動車株式会社	<u>東日本電信電話株式会社</u>	早稲田大学

（五十音順，下線は令和元年11月7日入会）



【参考】LRT専用ホームページ「MOVE NEXT」



LRTについてここで知ろう!
u-movenext.net

公式WEBサイトで、LRT 事業に関する最新情報やイベント情報などを随時更新しています!

Facebook 更新中!

LRT 事業に関する情報やオープンスクエアの様子などをお届けします。

MEMBER
市民応援団 teamNEXT

宇都宮のまちの未来を、市民の考えを育てていく市民応援団teamNEXTを組織しました。

teamNEXTは、宇都宮の未来に関する情報発信やさまざまな市民参加型の活動などを通して、宇都宮のまちを元気にする未来を盛り上げていくメンバーです!

詳しくはこちら

参加いただいたメンバーのみなさまへ
NEXTバンド（ラストバンド）と特製パンフを贈呈!

参加申込みはこちら

アーカイブ

ムービー

LIGHT RAIL TRANSIT

MOVE NEXT

記事

2022 交通未来都市うつのみやオープンスクエア

2022 交通未来都市うつのみやオープンスクエア

2022 交通未来都市うつのみやオープンスクエア

交通未来都市うつのみやオープンスクエア

2022 LRT.

2022 LRT.

2022 LRT.

このページに「いいね!」

シェア

交通未来都市うつのみやオープンスクエア

【広報うつのみや12月号】
毎月掲載している広報うつのみや12月号の記事を掲載します。毎月掲載できなくて申し訳ありませんm(_ _)m
※バックナンバーはコチラをご覧ください。
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/~kohoutsu.../index.html>
また、旧会岡タクシービルにPR看板をだしましたのでお知らせです!

MOVE NEXT

START, 2022 LRT.

JR宇都宮駅の東西を横断するLRTルートが決まりました!

【参考】常設型情報発信拠点のご紹介



○交通未来都市うつのみやオープンスクエア

◇交通未来都市オープンスクエアとは？◇

LRT事業に関する情報を市民の皆さんに
パネルや映像などで発信する情報発信拠点です。

＜場 所 ベルモール1階インフォメーションセンター裏手＞

＜営業時間 午前10時00分～午後7時00分 年中無休＞

説明パネル、各種資料、VRソフトでの整備後のイメージ体験など



NEW ! LRT整備区間ジオラマ



ご清聴、ありがとうございました。

宇都宮が大切にしたいこと、それは日々の暮らしの豊かさ。

**100年先も宇都宮を訪れる人が、住みたいと思える街になるために、
そんな愛すべき宇都宮らしさを、もっともっと。**

